

# どうなんだより

平成26年 夏号

〈編集発行〉

渡島農業改良普及センター

檜山農業改良普及センター(編集事務局)

J A新はこだて農業生産法人ネットワーク

地域を担う  
農業生産法人の横顔

## (有) 八雲フィードデザイン

～TMRセンターから道南最大の酪農協業法人に発展～



稲垣代表(左)

所在地：八雲町  
代表者：稲垣良夫  
構成員：農家6戸  
雇用：常時雇用10名  
設立：平成17年1月  
事業内容：酪農

労働過重の生産体系から脱却するため、地区内の酪農家でTMRセンターの農業法人を立ち上げた。構成員による収穫作業からスタートした法人は、平成22年から搾乳部門を含めた完全協業の酪農経営を行っている。現在、バイオガスプラントを建設中(平成27年稼働予定)。

### 法人経営の メリット

月に5日の休みを確保し、ゆとりのある生活となった。身体的・経済的にも楽になった。また、1つの物事に対してみんなで考えることにより良い方向性を生み出している。

### 法人運営の ポイント

定期的に話し合う場をもっており、毎日ミーティングを行っている。前日までの問題点の報告、作業計画の確認など、情報の共有化を図っている。

### これから法人化を 目指す農業者へ一言

最初は初めて行うことばかりで厳しい。先を見据え、現状でできることを積み重ね、取り組んで行くことが大事。

## J A新はこだて農業生産法人ネットワーク(法人N)の紹介

平成18年設立、今年で9年目を迎える法人N(会員数21名)は、管内の農業生産法人及び法人化を志向する組合員・組織で構成され、研修会やセミナーの企画・開催、視察研修等による情報収集を通じ、会員の研鑽と管内の法人化推進を目的に活動しています。

組合員からの法人化に関するご相談には、いつでも対応いたしますので、関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

また、会員も募集しています。

J A新はこだて 農業振興部 営農課 加藤 雄貴(法人N事務局)

※連絡先は下記

## トピックス



視察研修(3/11～13)・・・今年のテーマは「人材の確保・育成」。三重県の農業法人を訪問し、情報収集と意見交換を行いました。

■集落営農や農業生産法人等に関するお問い合わせは・・・

新函館農業協同組合 農業振興部 営農課 0138-77-5557 (J A新はこだて農業生産法人ネットワーク事務局)

〈渡島管内の方〉

渡島総合振興局 農務課 農業経営係 0138-47-9492

または、最寄りの普及センターまで

〈檜山管内の方〉

檜山振興局 農務課 農業経営係 0139-52-6573

または、最寄りの普及センターまで

■本号の記事に関するお問い合わせは・・・ 檜山農業改良普及センター 0139-53-6141 (担当：竹内)